

事業番号	04 10 13	事業改善シート（26年度実施事業分）			■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	保育士研修事業				担当課	部局	健康福祉部	
						課・室	こども・家庭課	
総合5か年計画	プロジェクト	7－2 子育て先進県の実現 5 地域・家庭の教育力の向上				E-mail	kodomo-katei@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開							
					実施期間	～		

1 事業の概要

目指す姿	保育所保育士等に対する研修を実施し、その資質及び児童処遇技術等の向上を目指す。															
現状	○保育の実施主体は市町村であり、保育に対する考え方や取組み方がまちまちな面がある。 ○保育所に求められる役割が多様化していることに加え、保育制度自体が変革期を迎えていることから、研修会等を通じての情報共有・情報交換が必要である。															
県が関与する理由	県関与の必要性あり		【左記の説明、根拠法令等】 地域で共通する問題への取組やどの地域にも共通する知識・技術の研鑽は、市町村単位より、県が広域ごと行うことにより経費が集約化されるメリットがある。													
	県民との協働による実施：検討中															
事業内容	① 成果目標（H26）															
	○発達障害児等の早期発見、適切な支援の実施等のための保育士研修会の開催（参加者数650人） ○保育所における食育の推進、食物アレルギー等への適切な対応のための給食担当者研修会の開催（参加者数550人）															
	② 事業内容（単位：千円）															
	項目		実施方法	H26実施内容		H25 (当初)	H26 (要求)		H26 (予算案)							
	1、保育所一般保育士研修会の実施		直接	保育所の一般保育士を対象とした研修会（公開保育、事例発表、グループ討議など）を保健福祉事務所単位（10か所）で実施 研修内容は地域ごと必要性の高いテーマを設定		237	227									
	2、給食担当者研修会の実施		直接	保育所の給食担当者を対象とした研修会（調理実習、事例研究など）を保健福祉事務所単位（10か所）で実施 研修内容は地産地消など食育の推進、アレルギー対策などのテーマを設定		350	360									
	3、関東ブロック保育事業連絡協議会への参加		直接	年1回開催される関東ブロック保育事業連絡協議会への参加		33	33									
				合計		620	620		0							
事業コスト	区分(単位：千円)	23年度	24年度	25年度	26要求	26予算案	成果目標の達成状況									
	予算額	前年度繰越						項目	H25末 (見込)	H26			H27 目標			
		当初予算	582	595	620	620	目標			成果	達成状況					
		補正予算														
		合計(A)	582	595	620	620										
	Aの財源	国庫支出金						保育士研修会参加人数	650	650						
		県債					給食担当者研修会参加人数						500	500		
		その他()	437	440	468	468										
		一般財源	145	155	152	152										
	決算額(B)	407	416													
概算人件費	職員数(人)	2.05	2.05	2.05	2.05											
概算事業費(B(A)+C)	概算人件費(C)	16,929	16,929	16,929	16,929	0										
		17,336	17,524	17,549	17,549	0										
指摘事項等への対応 □監査 □決算特別委員会 □県民協働による事業改善		(指摘事項等)				(対応)										
要求からの主な変更点																